

【配点】③1 各1点×12 ①2 ③2 各2点×9 ①5・8 ②5・7・8 各6点×5 その他 各4点×10

1

8の字ダンス

2 a イ b ウ c エ

3 A 方向 B 質 (完答)

4 A エ B ウ C ア D イ (完答)

5

ほ	か	の	ハ	チ	に	同	調	し	て
も	、	そ	れ	に	対	す	る	評	価
て	行	う							
は	自	分	の	目	だ	け	を	信	じ
訪	れ	た	候	補	地	だ	と	し	て

(同意可)

6
 さんにんよればもんじゅのちえ

7
 自 分 の も っ て い る 情 報

8
 それほど優れていない巢を、いい巢だという周りのすすめを信じて優れていると思いきみ、みんながそう思いきんだ結果、質の悪い巢を選択してしまうこと。

(同意可)

2

1
 第二段落 両親と私、
 第三段落 チリンチリン

(完答)

2
 へ 出 て し ま っ た 。

3
 笑 顔

4
 店番をしているということ。

(同意可)

5

お	母	さん	に	そ	っ	け	な	く	し	て	し	ま	っ	た	た	め	、	何
だ	か	気	ま	ず	い	か	ら	。										

(同意可)

6
 もう春なんかこない

(同意可)

7
 仲直りのきっかけとしてお母さんとふたりで食べてもらおうと思ったから。

(同意可)

8
 第一志望校からの合格通知。

(同意可)

3

1

①	念
⑥	悲願
②	②
⑦	民宿
③	負う
⑧	③
⑧	鏡台
④	根幹
⑨	④
⑨	職責
④	往来
⑤	⑤
⑩	帯同
⑤	眼前

⑪
 しじょう

⑫
 おかん

2
 ① 夢
 ② ○
 ③ 体
 ④ 長
 ⑤ ○
 ⑥ 青

- ① 「ミツバチの場合では「投票や意見表明」としてどのような「身体姿勢や運動のパターン、発声の仕方」をするか、という問いである。(a)の十〜十一行後に「8の字ダンスは人間での投票や意見表明に相当する」と書かれている。
- ② (a)の前には「ヒトとミツバチが似通っている」とあり、後には「ミツバチとヒトとで決定的な違いを生み出す可能性がある」とあるので、(a)には逆接のはたらきを持つ「しかし」が入る。(b)の前には『合意』を生み出す」とあり、後には「合意」を生み出した後のことが書かれてあるので、(b)には「そして」が入る。(c)の前の「評価が完全に独立に行われる」と後の「評価は自分の目だけを信じて行う」が同意なので、(c)には「つまり」が入る。
- ③ ミツバチが「8の字ダンス」でほかのハチたちに候補地について具体的に何を伝達するのか、ということである。――線②の直後の一文に「巢の候補地の方向をほかのハチたちに伝える」とある。さらに次の一文に「しかし、重要なのは方向だけではありません」とあることから、ここより後にもう一つがあると思われる。
- ④ ア・エのうち、ア・イ・ウがミツバチについて、エのみが人間について述べられており、ウの冒頭が「しかし」となっていることから、エ→ウの流れはつかめるだろう。そして、このどちらも「候補地」について述べられており、アも同様であることから、エ→ウ→アの順になり、最後にイとなる。
- ⑤ 線③の直後の一文や問いの◎の文から、「集合知」のおかげだとわかる。(6―2)の二行目の「次のような行動の仕組みが、集合知を生み出す」とあることから、この後をまとめたらいいとわかる。直後に「まず」『同調』する必要があります」とあり、その二行後に「しかし、集合知が生じるためには、同時にもう一つの条件を満たさなければなりません。それは」『評価』は、()『完全に独立に行われる』とあるので、「同調」と「評価の独立性」の二点についてうまくまとめた。
- ⑥ ④の直後の「個体のレベルでは」集合現象」がこのことわざの意味である。「ひらがな」指定であることに気をつけよう。
- ⑦ 線⑤を含む一文が「たとえば」ではじまっているので、ここより後の人間社会について説明されている部分から探す。「一時的な流行」ということは、一時ははやるもののその後は廃れてしまうということ、そのことについては「優れているとか美味しいという評判につられて」の段落で述べられている。「評判につられる」のは、周りの意見に流されてしまうからである。
- ⑧ 「情報カスケード」とは、――線⑥を含む段落の冒頭にあるように「自分のもっている情報よりも、ほかの人の行動を情報源として優先して、それがつぎつぎと全体に広がっていく連鎖現象」である。これをミツバチの巣探しの場合に置きかえて説明する必要がある。
- ②
- ① あいだに回想シーンが挟まっている。パターンの文章である。今日の朝のできごと→引越してきて間もない頃→予備校からの帰り道という流れになっている。
- ② 線①の直前に「ついさつき、玄関先まで見送ってくれた」とあるので、お母さんの見送りが終わるところを探す。(6―3)の十三行目の由芽の発言はお母さんに対するものであり、次の行で「通りへ出てしまった」とあるので、ここまでだと考えられる。
- ③ 一つめの②の直後の「を絶やさずに」お母さん」から、お母さんはいつも由芽のことを想ってくれている存在だとわかる。お母さんは由芽に対していつもどのように接してくれているのか。また、二つめの②を含む「泣いていき」せやけど、②で帰らんとあかんよ」という陽皆さんの発言から、②には「泣く」の反対の意味にあたる語句が入ることからも考えられる。
- ④ 「看板」とは、開店時に店の前にかかっているものだが、そのまま答えてしまうと文脈に合わない。――線③の直前の「三人揃って」や直後の「それはもうにぎやかで楽しくて」というところから、「看板娘として働いている」という意味だと考えられる。
- ⑤ 「まっすぐ家に帰る気がしない」ということは、何か家で嫌なことがあったからだろう。――線④の二行前に「出かけるときに、つい、お母さんにそっけなくしてしまった」とあるが、これだけでは理由として不十分である。「お母さんにそっけなくしてしまっただ」と「家に帰る気がしない」のあいだに「気まずい」「顔を合わせづらい」なども入れよう。
- ⑥ 「春」という指定語句がヒントになっている。『春は、くるよ』って、お母さんが言うてくれたのに()⑤って気分になつて」となっているので、「春はこない」という内容になるとわかるだろう。
- ⑦ 「なぜケーキを作ってもらったのですか」ではなく「なぜケーキをふたつ作ってもらったのですか」と聞かれていることに注意しよう。――線④の八行後で「お茶していかへん? ごちそうするし」とあることから、陽皆さんはこの時は由芽を励ますためにこの場所で食べようと考えていたことがわかる。しかしその後、由芽がお母さんにそっけなくしてしまっただことを知り、パティシエに頼んで桜の花びらを載せてもらっている。そして、(6―5)の四〜七行目で「これ、ふたつ……持つて帰る?」「お母さんと、食べる?」と由芽にすすめていることから、お母さんと一緒に食べてほしい、そしてお母さんと話をするきっかけにしてほしいと思っていることが読み取れる。
- ⑧ 文章全体から、「春」が「大学に合格すること」を意味していることは容易にわかるだろう。ただ、由芽は第二志望の大学からは合格通知を受けたものの「もう一年、がんばってみたい」と言って浪人していることから、自分の第一志望に合格することを目指していると思われる。
- ③
- ① ①は「今」の部分に「令」と書かないように、⑥は「悲」を「非」と書かないように気をつけよう。②は「追」と書いてしまっではおかしいことになる。例文から状況(じょうきょう)を正確にイメージしてほしい。③の「幹」や⑨の「責」は同音異義の漢字が非常に多いので、きちんと書き分けられるようにしておきたい。
- ② どれも誤りやすい漢字のものである。「誤っていれば正しく書き直した漢字一字を答えなさい」という指示を読み落とさないように気をつけよう。